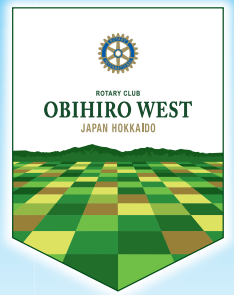




帯広西ロータリークラブ 第1989回例会 2013.3.21 会報



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

ゲスト紹介

小船井 修一 様 (RI 第 2500 地区ロータリー財団委員長・パストガバナー)

ビジター紹介

渡辺 喜代美 様 (RI 第 2500 地区米山奨学会運営委員会副委員長・2013・2014 年帯広ロータリークラブ会長エレクト)

会長報告

川田会長

本日は、小船井パストガバナーにお越し頂き有難うございます。青年会議所時代、釧路で大きなイベントを開催させていただいた際に一緒に苦労いただいた仲間であります。北海道随一のロータリーでの大先輩であり、ロータリーに対しての造詣が非常に深い、素晴らしい経歴をお持ちのお方です。私の方針の中の「学ぼうロータリー」の最後の仕上げを是非小船井パストにお願いしたいのですが、財団の話をしだすと非常に難しく、私まで眠くなってしまう位ですので、難しい話はやめて欲しいとお願いしております。

さて、三寒四温のような天気が続いておりますが、東京のほうからは桜の便りが届いております。今日は少し桜の話をしたと思います。私の会社の庭には、ソメイヨシノが2本、寒桜が2本植わっています。ソメイヨシノは植えてから7年ほど経ちますが、背丈が7～8メートルにもなっています。地球温暖化の象徴のような桜になっております。

ソメイヨシノの名前の由来はご存知でしょうか。実はこの桜は、人工の桜なのです。普通の山桜は勝手に受粉をしている交雑種ですが、ソメイヨシノだけは接ぎ木をしてつくられた桜であります。種もとれません。江戸末期から明治初期にかけて、東京の

染井という場所で作られた桜を売り出す際、吉野の桜をイメージして「吉野桜」という名前で売り出したそうです。勿論、奈良の吉野から批判が来たため、折衷案でソメイヨシノという名前になったということです。

人間が作ったクローンの桜ですので、60年ほどしか持たないのではないかとされておりまして。戦後、東京が焼け野原になったところに植え、ちょうど今がもう衰退の末期であります。人工で作った桜ですから、色々な手を加えて、なんとか長らえて現存しています。弘前では120年くらい長らえているものもあるそうです。技術はこれからも発達するでしょうから、まだまだ咲き続けるのではないのでしょうか。

ソメイヨシノの良い点は、クローン種であるがゆえ、一度に咲いて一度に散るということです。非常にお花見に適した桜であります。しかも花卉から先に咲くということで、全国的に広がり、今ではソメイヨシノの開花が各地の開花時期の基準となっているということです。もうひとつ、昔からの言い伝えで、庭に植えていい木は「陽木」、植えてはいけない木を「陰木」と言うのですが、桜は「陰木」と言われています。大木になるがゆえに気を吸い取ってしまうということと、パッと咲いてパッと散るイメージなどから死を連想させることなどが理由だそうです。庭に桜は入れないで公園に入れなさいということで、庭に大きな桜が入っているのはあまり見かけないものです。そんな言い伝えのある桜ですが、今年うちの庭のソメイヨシノ、見に来たい方は是非いらしてください。子供より大切に育てておりますから、素敵な桜が咲いてくれるのではないのでしょうか。

2013年 3月 識字率向上月間

ニコニコ 3月21日 23,000円
献金 累計 495,000円 (3月21日現在)



会長 川田 章博 副会長 岡田 武稔 会場監督理事 上垣香世子 発行：広報委員会
幹事 大友 広明 副会長 古田 敦則 プログラム委員会理事 河西 智子 委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

会務報告

大友幹事

- ・3月28日 帯広西 RC 夜間例会のご案内
- ・帯広北 RC・帯広南 RC 休会のご案内
- ・4月12日 高松移動合同例会のご案内
- ・4月22日 帯広南 RC 夜間例会のご案内
- ・5月11日 根室西 RC 創立 40 周年記念式典

ニコニコ献金

尾藤親睦活動委員

川田章博会員

小船井パストガバナー様にお越しいただきありがとうございます。



齊藤憲生会員

末娘が歯科医師国家試験に合格、我が家で三人目の歯科医師の誕生です。

田中耕吾会員

小船井パストガバナーをお迎えしての担当例会、宜しくお願い致します。

久保且佳会員

長女の大学の卒業式に出席しました。選んだ道に進めて嬉しく思います。

松見喜明会員

息子が高校に合格し、実弟が三菱ガス化学アメリカ社長に就任しました。

金尾 剛会員

3月30日オープン予定です。今年も皆様のご来場をお待ちしております。

尾藤輝幸会員

今回から「発表者は献金」ということで、献金させていただきます。

退会挨拶

曾我 雄会員



この度、青森県弘前に転勤になります。三年間あっという間でしたが有難うございました。一言、言いたかったのは非常に出席率が悪くご迷惑をお掛けしたことに詫言申し上げます。また、ロータリーで好きなのは歌でもある様にどこで会ってもお声かけ頂き本当に心の支えになっておりました。本当に短い期間でしたが、お世話になり有難うございました。後任の者にも必ず入会するように伝えましたので誘ってください。



プログラム

ロータリー情報委員会

「奉仕活動とクラブの活性化」

RI第2500地区 ロータリー財団委員長
パストガバナー

小船井 修一様



皆様こんにちは。和やかなムードの中運営をされていて素晴らしいと思います。

川田会長とは若いころ、青年会議所の道東ブロック会長が釧路から選出された際、私は専務、川田会長は室長を務めておりました。今は商工会議所の副会頭も務められご活躍されている尊敬している会長であります。

本日お話しするのは、「公共イメージと会員増強」についてです。私共が、来年も含め、どのような形でロー

タリーを活性化していかなければいけないかについて話をします。勿論、2500地区の中で十勝が一番活性化されていることには間違いありません。その中で、奉仕活動の実践とロータリーの活性化はある意味では表裏一体の関係ではないだろうかということ、様々な場面で同じような形で提案させて頂きたいと思っておりますので、その枕の話を皆様にお伝えして、本日の例会の話を進めたいと思います。

まず、「公共イメージの向上は、奉仕活動を通じて

実現し、そして、ロータリークラブ活動の活性化をもたらす豊潤感を実現するはずだ」ということです。財団も含めて、ロータリーは長期計画をいつも作っています。その中で、ロータリーは基本的な役割として「他者に対し奉仕し、事業と専門職務及び地域社会のリーダーの間の親睦を通じて、深い理解、親善、平和を推進する」という使命を持っており、その本質は、「地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワークである」。これがロータリーの前提にある中で、その中の長期計画の一部として、「公共イメージと認知度の向上」を我々としては強調しようとしております。

公共イメージについてロータリーってどんなところだろう、ブランドをどう高めていけばいいのか、知ってもらえるか、というようなことが、長期計画の中核となっています。冒頭で申し上げた、「ロータリークラブは実践を通して活性化する」、ということの成功の鍵ということで、これは国際ロータリーが推進していますが、「強いクラブになる為には素晴らしいプロジェクトをし、強烈な印象をクラブ内外、すなわちクラブメンバーやクラブ外の地域の方たちに与えることが会員数の寄付基盤になる。基本的には、評判がよくなれば会員数が増えるはずで、公共イメージ、すなわちロータリーというブランドの価値が高まることによって寄付が増え、結果的に強いクラブになる。このようなロジックの中で、長期計画を策定しつつあります。

2年前の夏から11・12月にかけて、タイでの大水害があったのは、記憶に新しいと思います。その中で私共は、公共イメージを向上させていくという一つの条例として、これを皆様にお伝えしたいと思います。水害ですから、水は沢山あっても飲む水がないという状況でしたので、我々の友好地区であるタイの3330地区を中心に、100万本のペットボトル飲料水を送ろうというプロジェクトを行いました。

ご承知のように、様々な日系企業の企業団地が水没し大騒ぎにもなり、10月末頃が日本での報道ラッシュだったと記憶しています。そのような状況の中で、我々は、一本10円・600mlのペットボトル飲料水に、ロータリーのマークをつけ、ロータリアンが各学校や様々な場所に直接運ぶ、というキャンペーンを行いました。私共は、ロータリーは奉仕活動を通して公共イメージの向上を図っていくべきだと考えておりますので、その典型例として、ロータリーのマークを付けたものをロータリアンが運ぶことで、被災者に対してロータリーの認識を深めていくことができたプロジェクトだったと思っております。

実は、二年前のちょうど3月11日の震災の年でその翌年のタイの地区大会で、皆様から30万本もの義援金を頂戴しておりました。およそ500人の参

加だった中で、一人1000本（およそ一万円）の募集があったようなので、約300人の方にご協力いただいたこととなります。その御礼も兼ねて、100万本のペットボトル、一万ドルを寄付させていただきました。WCSのお金で提供させていただき、私のほうに感謝状を頂きました。

私はRIの会長を務められていたタイのビチャイさんという方ときわめて親しく、それがタイによく訪問する理由でもあるのですが、日本でも募金活動をしよという事で、ビチャイさんのビデオレターを作っていたら、2011年11月の大阪の研究会（ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、エレクト補佐等、約1000名が集まる研究会）において、義援金の要請とビデオレターの放映を行い、約50万ドルを義捐金として実現し、提供させて頂いております。

佐賀ロータリークラブの50周年の時に出たお話を、少し読ませていただきます。

「2011年10月、タイで起きた洪水の恐怖は三か月以上続き、国内のあらゆるところで何千人もの人が被害を受けました。家や小屋を失い、何百エーカーの農地や作物、豊かな自然を奪い去りました。その中で、我々がお願いする前に、日本のロータリアンは、この災害の被害者の為に義援金を集め始めました。前川さんのもとに寄付金集めが始まり、前川さんは、人間のできる善行には限りがないもので、必ずみんなはこの方針に参加してくれると心から信じ、誰が寄付するかなどは全く心配していませんでした。その結果、集計すると、1600万本・5000万円もの寄付金が集まり、タイのロータリークラブへ送金されました。この寄付金の貢献のおかげで、434軒の家や小屋、2000人以上の人々、3つの巨大な防水システムなどの構築が行われ、救援物資やボートなどが贈られました。もう一度言います。誰がロータリーを必要としているか。その答えは、私たちが関わることによって生活が少しでもよくなっていく人達から聞くことができるでしょう。最後に、誰が本当にロータリーを必要としているか。私は、あなたと私が必要としていると言うでしょう。もし、我々が奉仕者として必要とされていることに満足しているならば、あなたと私、そして世界中のロータリアン達がロータリーを必要としていることとなります。」

訳された文章なので難解なものになってしまいました。

これは、昨年八月、その後お金がどう使われているかということで、高松の木村ガバナーと共に3350地区へ訪問しましたが、水の浄化装置や建物のかさ上げの工事が行われておりました。同じように、今年二月には、タイ北部のほうに災害の結果を確認に訪問しました。このようなことを通して、ロータリーの成功の鍵はやはりプロジェクトであり、例会での

親睦を図ることと同時に、対外的にもプロジェクトを組んで活動していくということもロータリークラブの活性化につながるということを私からお伝えしたいと思っております。

一つの小さな100万本の水のプロジェクトが50万ドルのお金になったわけですが、私共が次に後援しようとしているのが、癒しの水を支援するプロジェクトです。

行政は口にはしませんが、福島原発周辺の水道水に若干の放射能が含まれているかもしれないと言われています。私たちの世代はともかく、子供たちに放射能が影響を与えるのは恐ろしいことです。そこで、きれいな水を子供たちにお渡ししようというプロジェクトにまたつながっているのです。

私が申し上げたいことは、様々なプロジェクトというのは、単発で終わるのではなく、大きく影響を与えながら広がりを持っていくということです。そしてそれをロータリーで実現するのが可能だということです。このことをご理解いただきたいと同時に、奉仕というものの中で一つの行動が様々な良い結果につながり、その結果によって、ロータリー自身、最も多く欲する者、最も多く報われるという中で、クラブ自身が行動することによって自身も報われるのだらうと思っております。

これは予告なのですが、地区大会・指導者セミナーやペッツでも同じような話を致します。公共イメージを向上させロータリーを活性化させていくという内容で、やはり行動しなければ何もよくなるということをお伝えしていきたいと思えます。

サンディエゴ国際協議会では100万本の水プロ

ジェクトと、このひとつのプロジェクトが福島の水プロジェクトなど他のものにも繋がったというような内容で、ガバナーとして地区指導者セミナーでも講演をお願いしております。

このように、2500地区は実は様々な活動をしているということ、タイへの国際的な関係の中で我々の貢献もあったのだということを知って頂きたいと思い、お話をさせていただきました。

話題は変わりますが、来月4月20日から三年に一回行われるシカゴでの委員会に行つてまいります。それにあたり、皆様にお伝えしておかねばならない立法案についてのみお話をさせていただきます。大きな変更点や議論になる部分は

- ・RC幹事がガバナーに対して出席率を提出する制度をなくしたい
 - ・元米山奨学生を正会員として認めたい
 - ・仕事のない人でも正会員になれる点
 - ・ロータリーの綱領第五項目にある新世代奉仕、国際のほうに追加するのは反対したい
 - ・青森と秋田のロータリークラブの人員割れによる合併やクラブ解消の阻止
 - ・東日本大震災の被災者であるロータリアンの人頭分担金を免除(2500地区より)
- といったところです。

このような形で本日の私からの話を締めさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

